



## グローバル・オイル株式ファンド

### 代表的な石油関連企業のご紹介

石油関連企業の事業分野は、石油産業の広範な分野をカバーする「総合企業」のほか、「川上」から「川下」まで、多岐にわたっています。当資料では、事業分野ごとに、代表的な石油関連企業の特徴や事業内容などをご紹介します。

### 石油関連企業の事業分野は多岐にわたる

#### <石油関連企業の主な分類>

#### 総合企業

川上から川下まで石油産業の広範な分野をカバーする企業

- 欧米の超大手総合企業群  
スーパー・メジャー

【当資料でご紹介する銘柄】

- ・エクソンモービル(米国)
- ・ロイヤル・ダッチ/シェル(英国・オランダ)
- ・シェvron(米国)

- 資源国の国営企業群

#### ニュー・セブン・シスターズ

【当資料でご紹介する銘柄】

- ・ガスプロム(ロシア)



#### 川上企業

油田の探査・開発や、掘削装置の提供など、生産に携わる企業

【当資料でご紹介する銘柄】

- ・シュルンベルジェ(米国)



#### 川中企業

パイプラインなどを用いて、原油の貯蔵や輸送などを行なう企業

【当資料でご紹介する銘柄】

- ・キンダー・モルガン(米国)



#### 川下企業

原油の精製や石油製品の販売などを行なう企業

【当資料でご紹介する銘柄】

- ・フィリップス66(米国)



川上

川下

※ 上記は、個別銘柄および特定の事業分野の売買を推奨するものでも、当ファンドへの組入れなどを示唆するものでもありません。

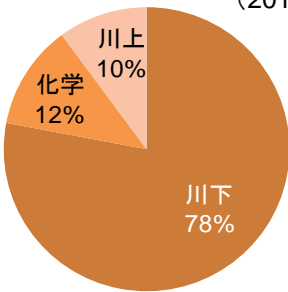
■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

総合

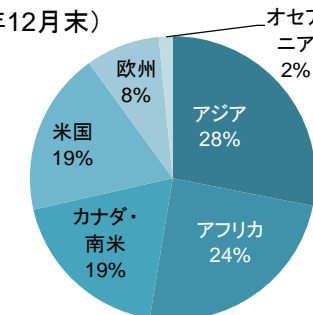
エクソンモービル

■ 同社は、世界最大の原油精製設備を持ち、大規模な開発プロジェクトの実行力に優れた世界最大手の総合石油・ガス会社です。川上・川下を組み合わせた事業構成により、市場変動が大きい時でも安定的な収益を生み出してきており、30年以上にわたる連続増配など、積極的な株主還元を行なっています。

＜事業別売上高比率＞



＜地域別石油生産量比率＞



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2016年5月末時点、1米ドル=110.72円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

米国

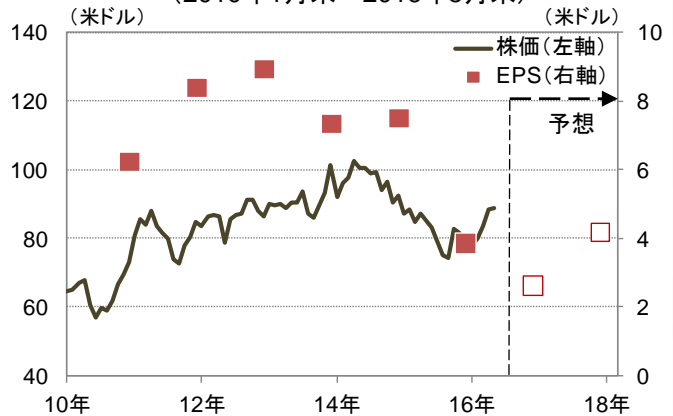


時価総額 約40.9兆円

業種 総合石油・ガス

＜株価の推移＞

(2010年1月末～2016年5月末)

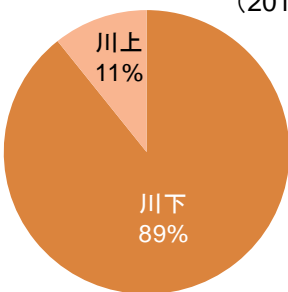


総合

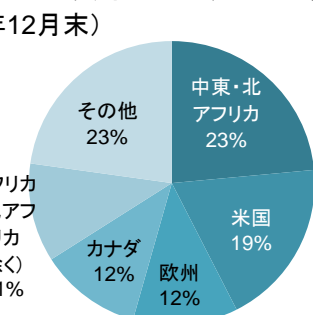
ロイヤル・ダッチ／シェル

■ 同社は、石油の探査・生産・精製のほか、石油製品の製造・販売など、多岐にわたる事業を、子会社を通じて世界中で行なっています。コスト削減の取り組みなどにより、財務の健全性は高い水準となっています。石油・天然ガス大手BGの買収や、設備投資の縮小などにより、今後はキャッシュフローの増加が期待されます。

＜事業別売上高比率＞



＜地域別石油生産量比率＞



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2016年5月末時点、1英ポンド=160.37円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

英国・オランダ

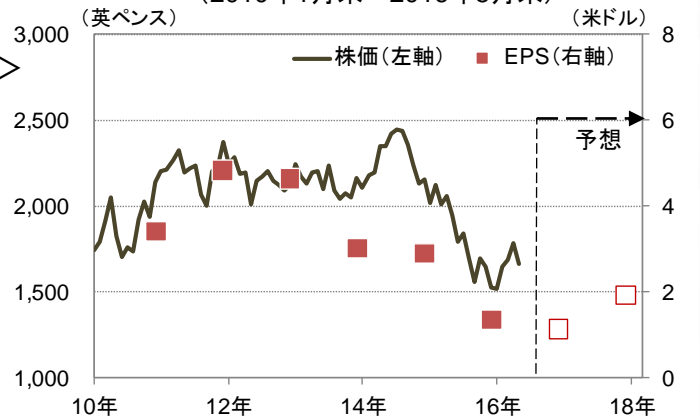


時価総額 約21.3兆円

業種 総合石油・ガス

＜株価の推移＞

(2010年1月末～2016年5月末)



上記は、情報提供を目的として代表的な石油関連企業について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

総合

シェブロン

■ 同社は、米国に本社を置く総合石油・ガス会社で、石油の探査・開発、石油製品の製造・販売など様々な事業を世界中で展開しています。複数の大規模な開発プロジェクトが進められており、足元ではコスト負担が重荷ではあるものの、中長期的には原油生産量の増加に大きく寄与し、今後は収益改善に貢献すると期待されます。

米国

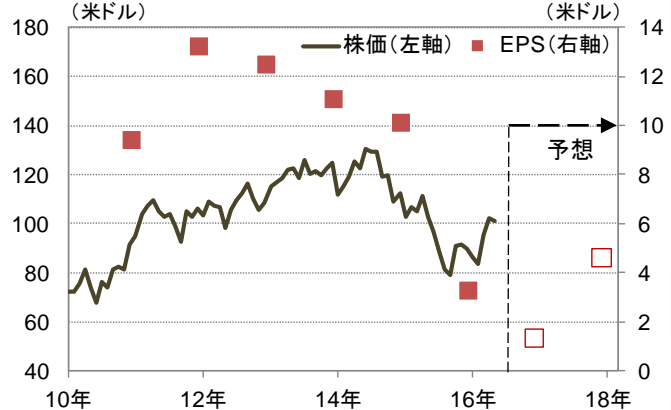


時価総額 約21.1兆円

業種 総合石油・ガス

＜株価の推移＞

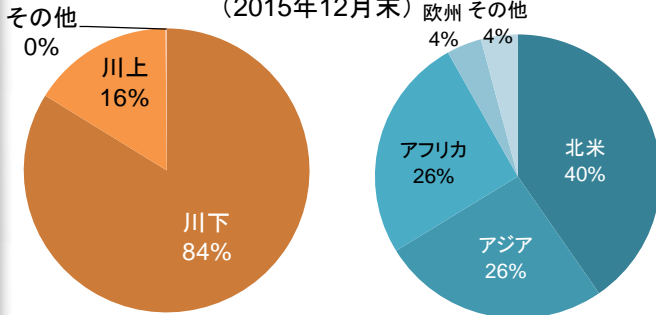
(2010年1月末～2016年5月末)



※時価総額は2016年5月末時点、1米ドル=110.72円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

＜事業別売上高比率＞ 地域別石油生産量比率＞

(2015年12月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

総合

ガスプロム

■ ロシアの国営企業である同社では、天然ガス部門が、生産量・埋蔵量ともに世界最大となっています。ロシアのガスパイプライン設備を所有・管理しており、独占的にロシア産ガスの輸出を行なっています。特に、欧州向けに輸出している石油・ガス製品は相対的に収益性が高く、同社にとって重要な収益源となっています。

ロシア

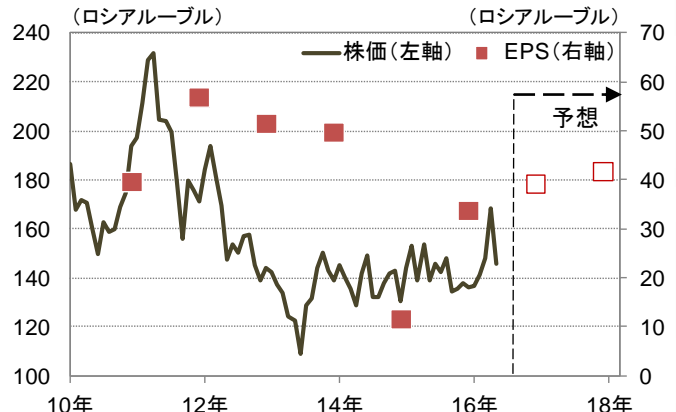


時価総額 約5.7兆円

業種 総合石油・ガス

＜株価の推移＞

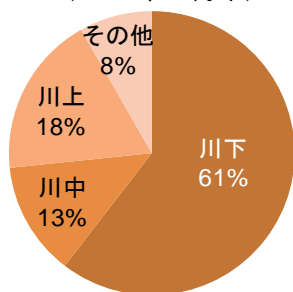
(2010年1月末～2016年5月末)



※時価総額は2016年5月末時点、1ロシアルーブル=1.66円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

＜事業別売上高比率＞

(2015年12月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として代表的な石油関連企業について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

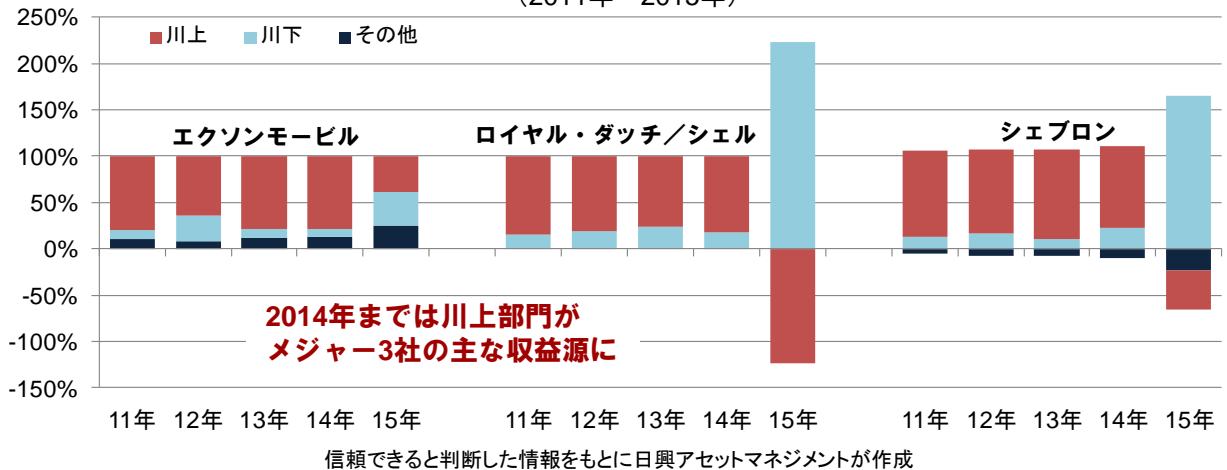
■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ご参考:スーパー・メジャーの収益構成と減損損失の推移

- エクソンモービル、ロイヤル・ダッチ／シェル、シェブロンの大企業3社は、売上高では、川下部門が大半を占めていますが、純利益で見ると、川上部門が相対的に大きな収益源となっていたと言えます。ただし、2015年は原油価格の下落を受け、純利益に占める川下部門の比率が高水準となりました。

### ＜純利益に占める川上・川下部門の比率の推移＞

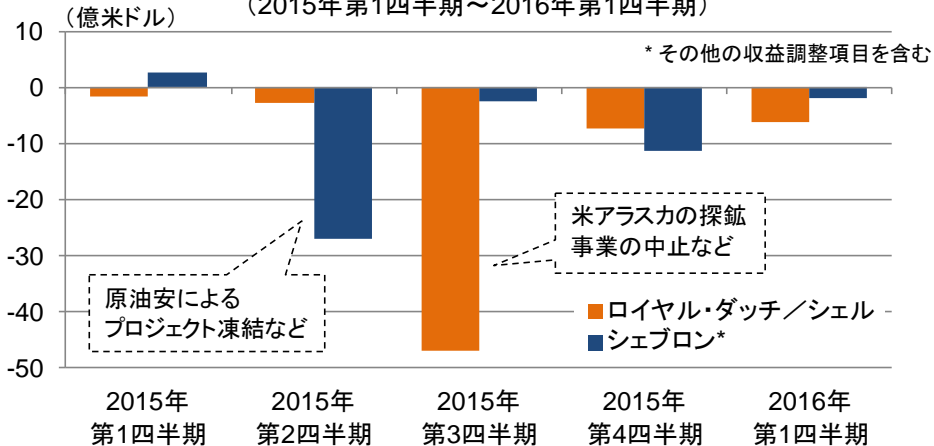
(2011年～2015年)



- また、ロイヤル・ダッチ／シェルとシェブロンは、原油価格が下げ足を速めた2015年に、近年の水準を上回る減損処理を行ないました。減損損失の計上理由や時期は各企業の固有の事情により異なりますが、両社とも、川上部門での減損が目立っており、原油価格の下落などを受けた探鉱プロジェクトの中止や、シェール関連資産の減損などが主な背景となっています。今後、原油価格が安定すれば、こうした損失が発生しづらくなると期待されます。

### ＜減損損失の推移＞

(2015年第1四半期～2016年第1四半期)



上記は、情報提供を目的として代表的な石油関連企業について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

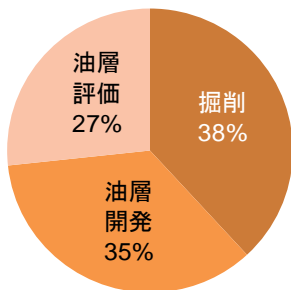
■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

川上

シュルンベルジェ

■ 同社は、世界中の石油・ガス探査・開発企業に対して、テクノロジー、統合プロジェクト管理、情報ソリューションなど、幅広いサービスを提供しています。強固な財務基盤を活かし、同社ビジネスを補完する掘削機器メーカーを買収しており、商品・サービスラインナップを拡充することで、市場変化への対応をめざしていると考えられます。

＜事業別売上高比率＞  
(2015年12月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

米国



時価総額

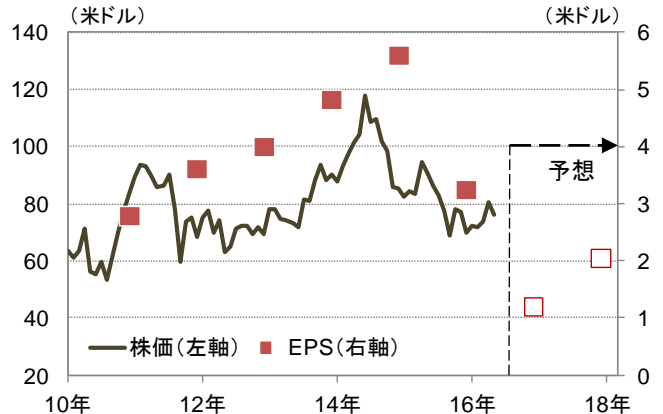
約11.8兆円

業種

石油・ガス装置・サービス

＜株価の推移＞

(2010年1月末～2016年5月末)



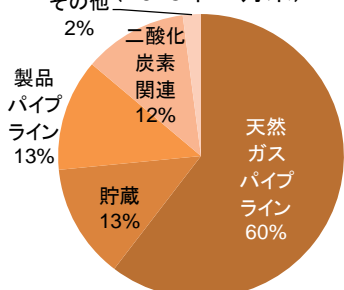
※時価総額は2016年5月末時点、1米ドル=110.72円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

川中

キンダー・モルガン

■ 同社は、パイプライン輸送やエネルギー貯蔵など、川中分野の事業を多角的に展開しており、独立系の石油製品輸送会社としては米国最大手です。所有・運営する多数のパイプラインやターミナルを活かし、低コストで天然ガスを産出する地域へのアクセスを可能としているほか、米国の様々な地域への輸送を実現しています。

＜事業別売上高比率＞  
(2015年12月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

米国



時価総額

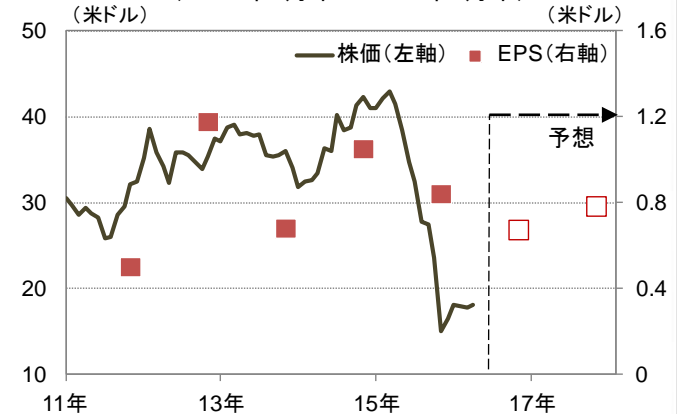
約4.5兆円

業種

石油・ガス貯蔵・輸送

＜株価の推移＞

(2011年2月末～2016年5月末)



※時価総額は2016年5月末時点、1米ドル=110.72円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

上記は、情報提供を目的として代表的な石油関連企業について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

川下

フィリップス66

■ 同社は、スーパー・メジャーの1社、コノコ・フィリップスから2012年にスピノフ(分離・独立)した、川下分野のエネルギー会社です。米国に8,000カ所以上、欧州に1,000カ所以上ある同社ブランドの販売所で、燃料や潤滑油製品などを販売しています。設備投資の削減や資産売却を進めており、キャッシュフローの増加が期待されます。

米国



時価総額

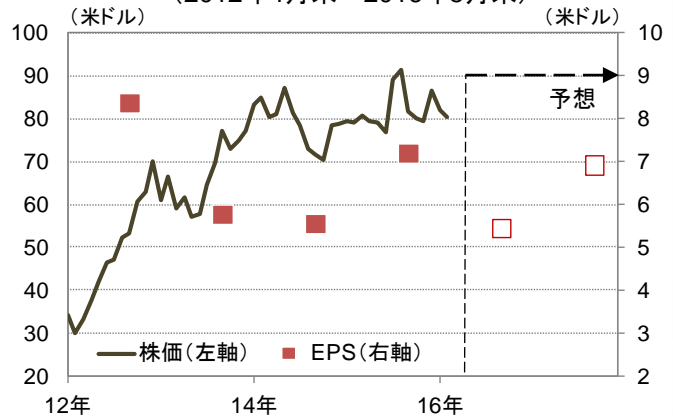
約4.7兆円

業種

石油・ガス精製・販売

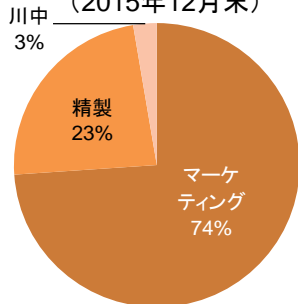
＜株価の推移＞

(2012年4月末～2016年5月末)



＜事業別売上高比率＞

(2015年12月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2016年5月末時点、1米ドル=110.72円(2016年5月末時点)で円換算  
※EPSは年末値ベース。16年末・17年末は、2016年5月末時点のコンセンサス予想

上記は、情報提供を目的として代表的な石油関連企業について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

- 1 世界の石油関連企業の株式を主な投資対象とします。
- 2 20～30銘柄程度に厳選投資します。
- 3 地政学リスク分析を専門とするユーラシア・グループからの情報・分析を活用します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

【有価証券の貸付などにおけるリスク】【業種の集中に関するリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- ・ 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・ 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お 申 込 メ モ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	<当初申込期間> 1口当たり1円 <継続申込期間> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入のお申込期間	<当初申込期間> 2016年5月26日～2016年6月7日 ※当初申込期間以降もお申込みいただけます。
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2026年5月12日まで(2016年6月8日設定)
決算日	毎年5月12日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>1.7928%(税抜1.66%)</u> を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)